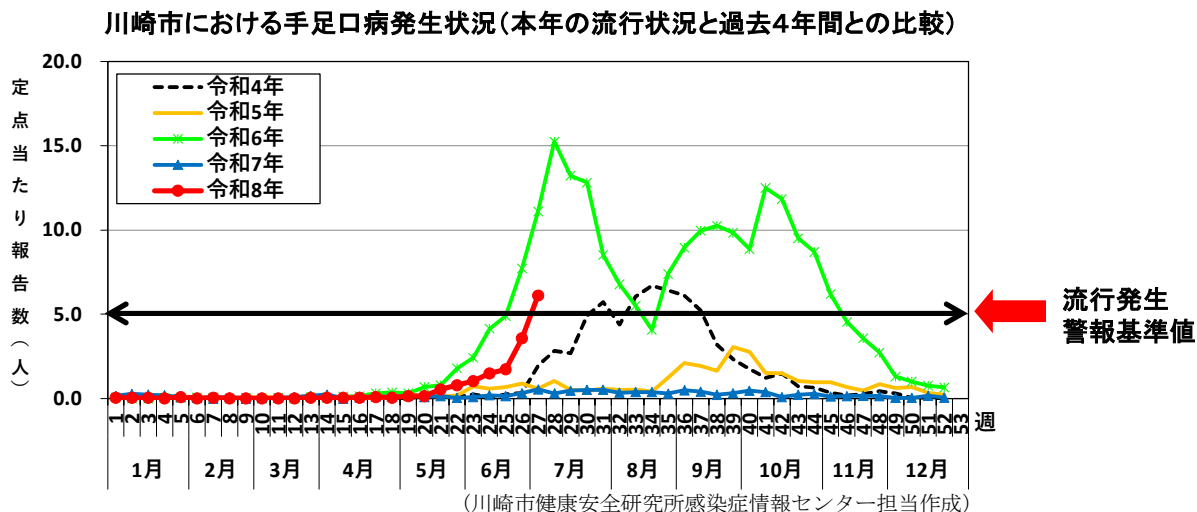


手足口病流行発生警報発令！ ～手足口病の患者が急増しています～

川崎市における手足口病患者の報告数が、令和8年第27週（集計期間：6月29日～7月5日）において流行発生警報基準値（定点当たり5.00人）を超え、定点当たり6.11人（小児科定点：37医療機関）となったため、流行発生警報を発令します。

1 本市における手足口病の流行状況

直近5年間に於いて、手足口病患者の報告数が流行発生警報基準値を超えたのは、令和4年、令和6年に続き3回目となります。



※ 令和8年4月以降に手足口病として健康安全研究所に搬入された4検体のうち、2検体から原因ウイルスであるコクサッキーウイルスA6型が検出されています。コクサッキーウイルスA6型による水疱は扁平で、他のウイルスによる手足口病と比べてサイズが大きくなりやすいことなどが知られています。

2 最近4週間の定点当たり患者報告数

- ・第23週（6月1日～6月7日）：1.03人
- ・第24週（6月8日～6月14日）：1.49人
- ・第25週（6月15日～6月21日）：1.73人
- ・第26週（6月22日～6月28日）：3.57人

3 市民の皆様へ

例年、手足口病の患者報告数は夏季にピークとなります。今後、さらなる発生が予想されますので、流水と石鹸での手洗いなど予防策の徹底をお願いします。

《問合せ先》

川崎市健康福祉局保健医療政策部

感染症対策課 神庭（かにわ）

電話 044-200-2446（内線 32921）

手足口病を予防しましょう！

手足口病とは

口の中や、手足などに水疱性の発疹が出るウイルス性の感染症です。
乳幼児を中心に夏に流行します。保育施設や幼稚園では、集団感染が起こりやすいため、特に注意が必要です。

症状

感染してから3～5日後に、口の中、手のひら、足底や足背などに2～3mmの水疱性発疹が出ます。発熱は約1/3にみられますがほとんどの場合軽度で、数日間のうちに治る病気です。

まれですが、髄膜炎や脳炎、心筋炎などの合併症を起こすことがあります。

感染経路

- 飛沫感染 … せきやくしゃみの飛沫による感染
- 接触感染 … 水疱内容物に触れた手などからの感染
- 経口感染 … 便の中に排泄されたウイルスが口に入ることによる感染

治療

特效薬はなく、特別な治療法はありませんので、症状に応じた治療となります。

基本的には軽い症状の病気ですが、経過観察をしっかりと行い、**高熱が出る、発熱が2日以上続く、おう吐する、頭を痛がる、視線が合わない、呼びかけに答えない、呼吸が早くて息苦しそう、水分が取れずにおしっこが出ない、ぐったりとしている**などの症状がみられた場合は、すぐに医療機関を受診しましょう！



予防するには

接触感染や経口感染を予防するために**流水と石鹸で手洗い**をしっかりと行うことが重要です！

特に、トイレの後やおむつ交換の後、食事の前にはしっかりと手を洗いましょう。

※タオルの共用は避けてください。

症状がなくてもウイルスは出ています

便中へのウイルスの排泄は、症状が消失しても2～4週間にわたり続きます。

また、感染しても発病しないまま、ウイルスを排泄していることがあります。

症状の有無に関わらず、日頃から手洗いを習慣化し、トイレの後、おむつ交換の後、食事の前にしっかりと手を洗うことが大切です。